

議事録作成支援システムに関する 情報提供依頼

情報提供依頼書 (Request For Information)

加古川市 企画部 デジタル改革推進課

令和8年6月16日

目次

1 本事業の背景と目的.....	3
1.1 本市の現状.....	3
1.2 現状の課題.....	3
2 情報提供依頼内容.....	3
2.1 概要.....	3
2.2 業務範囲・内容.....	4
2.3 機能.....	5
3 スケジュールおよび提案書提出に関して.....	6
3.1 スケジュール.....	6
3.2 提出物.....	6
3.3 提出形態.....	6
3.4 提出先.....	7

1 本事業の背景と目的

加古川市(以下「本市」)では、令和 2 年度からオンプレミス型の議事録作成支援システムを導入し、機密性の高い会議議事録などの作成に活用しています。このシステムはセキュリティ面で一定の要件を満たしていますが、近年、クラウド型サービスの普及が進み、柔軟性が求められる場面での制約が顕著になっています。また、生成 AI 技術の進化により、音声認識や議事録作成の精度が飛躍的に向上しているため、現行のシステムではこれらの新技術を活かしきれない状況です。導入から 5 年以上が経過していることから、これらの課題を解決するために、新たなシステムへの更新又は利用場面をすみ分けての導入を検討しています。本事業にかかる最新の技術動向の把握のために、必要な情報をご提供ください。

1.1 本市の現状

- ・導入時期:令和2年度
- ・導入ソフトウェア:AmiVoice(会議録研究所製)
- ・契約形態:ライセンス買い切り(以降毎年度保守契約のみ)
- ・ライセンス形態:オンプレミス版
- ・ライセンス数:USB ライセンスキー3本
 ※1本は議会事務局に常設。残り2本はデジタル改革推進課事務所で保管し随時貸出利用。
- ・利用会議数及び会議時間数(年間):

年度	会議数	会議時間(全文)	会議時間(要約)
令和3年度	161	285 時間	0
令和4年度	198	361時間	0
令和5年度	165	303時間	0
令和6年度	151	264時間	5時間
令和7年度	174	205時間	84時間

- ・利用所属:29所属(令和7年度実績)

1.2 現状の課題

(1)同時利用ユーザー数の制限

現行システムではUSBライセンスキーの数が3本と限られており、複数の職員が同時に利用できる状態にならないため、必要な時にすぐにシステムを使えないことがあります。

(2)作業場所の制限

現行システムの利用には USB ライセンスキーが必要となるため、外出先やリモートワーク中はシステムの利用ができないという制約があり、柔軟な働き方が求められる状況において、大きな不便となっています。

(3)業務効率の低下

現行システムでは議事録作成の都度デジタル改革推進課に足を運び、USBライセンスキーの貸出を受ける必要があります。職員の移動にかかる時間や手間が発生するため、業務効率が低下しています。

(4)オンプレミスの弊害

現行システムでは当初導入時に各種会議情報をシステムへ取込、辞書登録を行いました。オンプレミスでの運用であるため、近年の AI 技術を活用した変換や機能強化の恩恵を受けにくい状況となっています。

2 情報提供依頼内容

2.1 概要

上記「1.2 現状の課題」をふまえ、課題解決が可能な提案や情報提供をお願いします。特に以下の事項を重視しています。

- ・クラウド型サービスによる機動性の向上
- ・AI を活用した高精度な文字起こし
- ・発話者の特定・分類
- ・議事録の要約機能
- ・機密情報を取り扱うためのセキュリティ対策
- ・専用モバイルレコーダー等を活用した録音業務の効率化

なお、一部要件への対応が困難な場合であっても、その他の要件に対応可能であれば積極的な情報提供を

お願いします。

2.2 業務範囲・内容

(1) サービス概要

以下の内容について情報提供してください。

(ア) サービス説明

製品概要

特徴

他製品との差別化ポイント

(イ) ライセンス形態

クラウド型・オンプレミス型等の区分

ライセンス体系

同時接続数や利用人数の考え方

(ウ) 動作環境

対応 OS

対応ブラウザ

推奨環境

(エ) セキュリティ

データ保管場所

データセンター所在地(国名及び地域)

保存データが国内サーバで保管されるか、国外サーバで保管されるか

音声データ及び文字起こしデータの保存場所

生成 AI 機能利用時のデータ処理場所

学習データへの利用有無

通信及び保存データの暗号化方式

認証方式(ID・パスワード、多要素認証等)

アクセス権限管理機能

操作ログ取得機能

ISMS 認証取得状況

ISMS クラウドセキュリティ認証取得状況

プライバシーマーク取得状況

(オ) 保守・サポート

問い合わせ対応

操作研修

マニュアル提供

導入支援

利用者向けサポート

(カ) 録音機器との連携

専用モバイルレコーダー等の提供可否

録音機器との連携方法

録音データの自動アップロード機能

モバイルアプリによる録音機能

推奨する録音機器

録音機器に係る概算費用

(2) 導入実績

自治体における導入実績

導入団体数

類似規模自治体への導入事例

導入効果

(3) 導入スケジュール

契約から利用開始までの標準スケジュール

初期設定に必要な期間

職員研修に必要な期間

(4)費用の概算見積

(ア)イニシャルコスト

初期導入費用

環境設定費用

データ移行費用

操作研修費用

録音機器導入費用

(イ)ランニングコスト

ライセンス費用

保守費用

サポート費用

クラウド利用料

2.3 機能

(1)提案を期待する機能

①音声認識・文字起こし機能

音声ファイル及び動画ファイルから文字起こしが可能であること

高い認識精度を有すること

自治体業務における専門用語や固有名詞に対応できること

②発話者識別機能

複数話者を自動で識別できること

発話者ごとに発言を分類できること

発話者情報を編集できること

③要約機能

会議内容を自動で要約できること

重要事項や決定事項を抽出できること

要約内容を編集できること

④生成 AI 活用機能

生成 AI を活用した議事録作成支援機能を有すること

会議内容から議事録案を自動生成できること

決定事項、課題、対応方針、ToDo 等を抽出できること

論点ごとに内容を整理できること

指示(プロンプト)に応じて出力形式を変更できること

生成 AI 利用時の学習利用有無及び学習除外設定の可否を明示できること

⑤議事録編集機能

編集作業が容易に行えること

検索機能を有すること

Word、Excel、PDF 等への出力が可能であること

テンプレートを利用した出力が可能であること

⑥クラウド利用機能

複数職員による同時利用が可能であること

利用端末を限定しないこと

庁内外から利用可能であること

権限に応じたアクセス制御が可能であること

⑦セキュリティ機能

アクセス権限管理機能

操作ログ管理機能

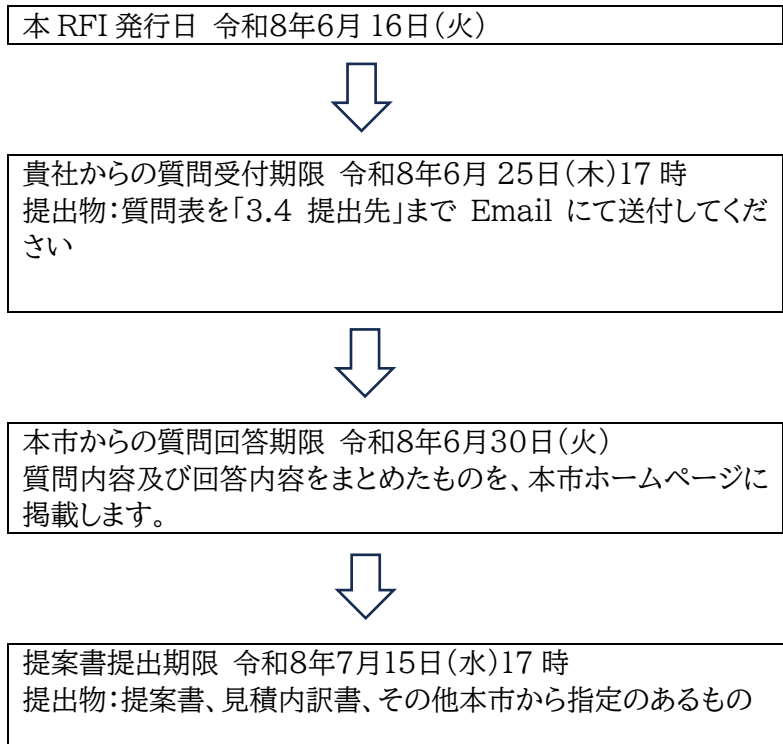
データ暗号化機能
多要素認証への対応
国内外のデータ保管場所を明示できること

⑧録音機器連携機能

専用モバイルレコーダーとの連携が可能であること
録音データを容易に取り込めること
録音データの自動アップロード機能を有すること
モバイルアプリによる録音に対応していること

3 スケジュールおよび提案書提出に関して

3.1 スケジュール



※質問される場合は、別紙「質問表」に記載し送付してください。

電話での問い合わせには対応いたしかねます。

3.2 提出物

- ・提案書
- ・見積書
- ・見積内訳書

※現行の保守のみの経費と比較を行いたいため、見積書については、ライセンスにかかる費用と、保守や支援サービス、専用モバイル端末等にかかる費用の別がわかるよう記載してください。また、それぞれの内訳について見積内訳書に記載してください。

3.3 提出形態

- ・電子ファイル(E-Mail または CD-ROM による送付)

※PDF 形式または Microsoft Word 2019、Microsoft Excel 2019、PowerPoint 2019 にて参照可能な形式としてください。

3.4 提出先

〒675-8501 兵庫県加古川市加古川町北在家 2000 番地
加古川市 企画部 デジタル改革推進課(担当:橘・空林)

TEL : 079-427-9126
FAX : 079-429-2265
E-Mail : kik_jouhou@city.kakogawa.lg.jp

※本 RFI への対応の有無とともに、ご提供頂いた情報の内容は、今後想定される調達を選考に一切関係ありませんので、ご承知ください。

※提供頂いた情報については、当組織内でコピー・配布をさせていただきますが、貴社に断りなく他地方公共団体や他社への配布はしません。

※提案書作成に係る費用は貴社にて負担してください。

※システム構成や作業工数、見積内訳について、必要に応じて直接ヒアリングを行う場合があります。

以上